

社内木鶏感想用紙

2025 年 6 月 30 日

6 月号

名前

タイトル:

読書立国

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

この特集では、歴史を振り返りながら現代の日本人が読書離れの深刻な現状を警告している。この特集を通じて、書店が急激に激減する日本の現状に深い衝撃と同時に強い危機感を感じました。この特集の中で印象に残った言葉は、「読書は国防である」という言葉です。軍事力ではなく本を読む民族が、日本を守ったということ。この言葉を通じて、国家を支えるのは軍事力だけではなく、本を読む“学ぶ姿勢”こそが真の国防だということを感じました。

近年、スマートフォンやSNSの普及で便利な時代ではありますが、その反面、書店で本を購入し読書する機会は減少し、他社を知る機会や自身の考える力や視野を広げる機会を失っているように思います。「人、学ばざれば道を知らず」という言葉のように学びを怠らず、学ぶ姿勢を大切にしていかなければならないと思います。

弊社では、「共栄塾」を通じて、様々な方々の意見や考え方を学ぶ機会をつくっていただいております。近年、本を読む習慣がなくなる一方、こうして共栄塾を通じて学ぶ環境を提供いただいていることに感謝し、自身の考える力や人間力を高めていけるよう努めていかなければならないと感じました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

共栄塾感想用紙

2025 年 6 月 30 日

6 月号

名前

タイトル: AI時代に負けない生きる力を育む子育て

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

時間や場所を問わず誰もが瞬時に情報へアクセスできたり現金を持たないキャッシュレス決済等、日々の生活をする上で切り離す事の出来ないスマホ生活がここにあります。便利なスマホのデメリットとして深く考えない、自己肯定感や共感性の低さ、感情の抑制ができない、集中力が短い、親子の触れ合いが薄れている等様々な問題点があげられています。スマホ育児の代償は、大きいなと感じました。

子供たちを伸ばすには、親と一緒に楽しい経験をする”共有型しつけ“が大切であり洗練コードと呼ばれる三つのH 褒める、励ます、広げるを意識した言葉かけが大事との事。記憶を辿れば両親が私の為に忙しい時間を割いて教えてくれた事は、勉強でもスポーツでも今でも記憶に残っています。

好きな事に没頭する遊び(能動的な活動)が、生きる力を育み自己肯定感を高め非認知能力の向上に繋がるとありますが、以前に子供の”寄り道”が想像力や豊かな心を育むと聞いた事があります。

私の子供も学校帰りの寄り道で花リースを作ったり、帰る道すがら花の蜜を集めて吸ったりするのが楽しかったと聞いた事があります。肯定感を高め社会性や感情をコントロールする力や挑戦力を高めるのであればしっかり遊ぶ事って本当に大事なだと改めて感じました。本の読み聞かせ等の触れ合いの時間を各家庭や学校で作る事でスマホ依存生活を今一度考えていかなくはいけないし、それが分かっただけでも良かったです。そして私も本に触れる機会を増やして脳トレーニングを増やそうと思いました。

②仲間の発表を聞いて気付いた事

共栄塾感想用紙

2025 年 6 月 30 日

6 月号

名前

タイトル: AI時代に負けない生きる力を育む子育て

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

対談を読み、子どもの子育てに関する内容でしたがとても他人事ではない内容でした。

まず挙げられているのが日本のデジタル端末が急速に進んだことによる「スマホ依存症」や「デジタル脳」になってしまっている事。最近では「スマホ認知症」などの言葉も多く聞きますが

お風呂やトイレまで持ち込んでる方も多いそうです。最近ではコロナの影響もあり小学校でタブレット端末を使い授業などしています。一見時代の流れで悪いようには感じませんが

内田教授と川島教授はスマホなどでインターネットなど利用する時間が長い子どもほど脳の発達を阻害されるというデータが出ておりスマホに触れる時間が長い学生は自尊心、自己肯定感や共感性が低かったり感情の抑制ができなかったり、神経症状が出ているとおっしゃっています。ここ数年で不登校になった児童が急激に増えているというニュースを目にしたことがあります。私が小さいころは夏休みはよく図書館や児童館に行ってましたが今はスマホ一つで楽しい娯楽に触れることができます。大人も同様にスマホなどに依存すると体の調子だったり、思考の低下に繋がるので気を付けたいと思いました。

「洗練コード」と呼ばれる3つのH〈褒める・励ます・(視野を)広げる〉を意識した言葉は

今後も覚えておきたいと思いました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

2025 年 6 月 30 日

6 月号

名前

タイトル:

特集 読書王国

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

今回は読書王国を読みました。まず驚いたことは江戸時代末期の識字率が9割を超えていたという事です。徳川家康が庶民に教育を与える事を実践したことにより、庶民が本を読み、学び、考え、自立した発想を持つようになり明治維新を迎えたという説は大変勉強になりました。改めて、なぜ本を読むことが大切かを考えた時、まず本から知識を得ます。それを元に自分で考え何を思うかという作業を頭の中でします。これを繰り返す事により、自分の頭の中で学びという訓練をして考え方、知識が広がり自分の頭の中の引き出しが多くなるから人生が豊かになると思います。もう1点、驚いたことはイギリス人が日本を植民地にしようとしたら、日本人は庶民も本屋で立ち読みをしている様子を見て、無能な庶民の為に統治をしてあげなければという考えが間違っている事に気づいた話は興味深かったです。改めて文字を読み、理解し、考える事の大切さを学ばせていただきました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと